



交流の輪ひろげよう

Ring

Ring

# りんぐりんぐ

第67号  
VOL.67

八戸国際交流協会

Hachinohe International Relations Association

2022年1月発行

Published January 2022

## やさしい日本語で伝えてみよう!



令和3年12月5日(日)

八戸市白銀公民館で、地域で育むBOSA I講座を開催しました。日本人と外国人計45人が参加し、災害時におけるやさしい日本語や、地震・津波が起きた時の逃げる場所などについて学びました。演習では、日本人がやさしい日本語を使いコミュニケーションをとりながら、外国人の体調確認や避難所で支給される食べ物の説明を行いました。

交流するともっと  
わかる世界のこと。

⇒ 詳しい内容は、6~7ページをご覧ください。

### Index

P2 新国際交流員の紹介

P3 写真でハッピーハロウィンコンテスト

P4~5 海外で活躍するアーティスト

P6~7 外国人とのコミュニケーション

P8~9 世界で活躍する八戸ゆかりの人

P10 教えて マイケル先生!

P11 HIRAからのお知らせ

P12 八戸市HP外国人住民向け防災情報

会員数

個人 131

団体 54

(令和4年1月現在)

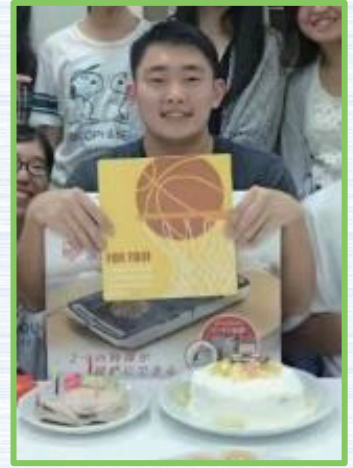
# New! 紹介します!

## 八戸市の国際交流員[CIR]



ジュンジ・ヤン  
Junji Yang

CIRとは?  
Coordinator for  
International  
Relationsの略で、  
通訳・翻訳・国際交流  
イベントなどを通じて国際  
理解を進めるための仕事  
をしています。



令和3年9月から新しく八戸市の国際交流員に着任した  
ジュンジ・ヤンさんを紹介します。  
市が発行する「広報はちのへ1月号」でも、ジュンジさんを  
紹介しているので、ぜひご覧ください。



← 広報はちのへ1月号

初めまして! アメリカのカリフォルニア州から来ました、  
ジュンジ・ヤンと申します。中国上海の出身で、高校からアメ  
リカに移住しました。高校時代にできた日本人の友人をきっ  
かけに、日本語と日本文化に興味を湧き、大学でも日本語を専  
攻していました。

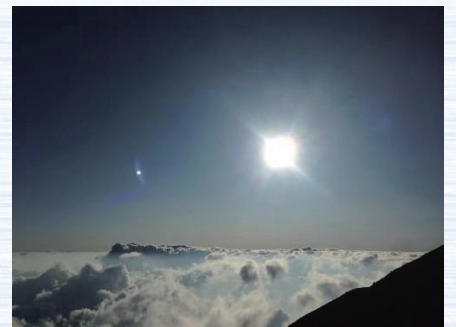
It is nice to meet you! My name is Junji Yang, and I am from  
California, the U.S. I was born and raised in Shanghai, China.  
After I graduated from middle school, I moved to the U.S with  
my family. Thanks to my best friend in High school, who was  
an exchange student from Japan, I was interested by Japa-  
nese language as well as its culture. I also majored in Linguis-  
tic in favor of Japanese in college.



大学での誕生日パーティー

大学3年生の時、交換留学で山梨に住んだ事があります。半年ちょっとの  
時間だけだったけど、とても有意義な時間でした。たくさんの友達ができ、  
富士山にも登りました。富士の頂で観た景色は今でも忘れられません。

During my third year of college, I spent half years in Tsuru, Yamanashi for  
an exchange program. Though it was a short period of time, I met many  
lifetime friends and my memory in Yamanashi was one of most meaningful  
ones in my entire life. I also climbed the Mt. Fuji, and the scenery at the top  
of Fuji was majestic and unforgettable.



私は趣味がたくさんあり、基本的に新しい物を試すのが好きです。中でも料理、ゲーム、スポーツ観戦が特に好  
きです。バスケットが大好きで、高校三年間はずっとバスケット部でした。コロナ禍であまりバスケットができていませんで  
したが、NBAなどのプロの試合は忘れずにチェックしています! スポーツやゲームのお誘いでしたらいつでも  
ウェルカムです! 八戸でも、スポーツ関連のコンテンツについて理解を深め、関わって行きたいと思います。

I have many interests for my free time, and I am always excited to try new things. Among all my hobbies, I  
enjoy cooking, gaming and Sports the most. I love playing basketball, and I have spent three years in High  
school for the school basketball team. I wasn't able to play basketball recently due to the ongoing pandemic  
but I would still check the pro-leagues such as NBA. With that being said, I will always be open with invites for  
games or hoops. For my career in Hachinohe, I would also try to have a deeper understanding of the local  
sports contents and hopefully get involved to it.

八戸には来たばかりで、まだ至らぬ点も多々あると思いますが、一日でも早く皆様にアメリカ・中国の文化と、  
その面白さをお伝えできるよう頑張ります! どうぞ、よろしくお願いいたします。

It might take some time for me to get used to everything here in Hachinohe, but I will try my best to share  
my experiences and the beauty of both American and Chinese cultures I cherish. Thanks in advance for your  
patience and support.



写真で

# HAPPY HALLOWEEN 入賞作品発表



今年も「写真でハッピーハロウィンコンテスト」を実施したところ、  
たくさんの応募をいただきありがとうございました。  
とてもステキな10作品が選ばれましたので、紹介します！

# 海外で活躍するアーティスト

多方面から国際交流を考える際の新たな視点となりうる、「アートを通じた異文化交流」の活動をご紹介します。

今回川崎編集長が取材したのは、生まれながらに脳性麻痺の障害があるアーティストの、佐藤 涼(さとう りょう)さんです。佐藤さんは青森市在住ですが、八戸在住のカナダ人のマイケル・モリスさんから、毎週1回英語のオンラインレッスンを受けています。両足・両手及び喋ることに障害がありますが、絵を描くことが好きで、両手が使えなくても、口に鉛筆・筆を咥えて絵を描いています。現在、ニューヨークをベースに若手芸術家の作品発表の場を提供する日本人現代アーティストチーム\*JCATの一員として、作品を発表しています。そんな佐藤さんに、**なぜニューヨークなのか？、なぜ英語を勉強したいのか？**を聞いてみました。



絵を描く様子



JCATへの参加は、外国へ行くことの憧れがきっかけでした。私は障害者ですが、国内の各所に旅行に行きま。この場合も、事前の準備、情報入手、移動・宿泊手配など、可能な限り自分で行うようにしていましたが、それでも色々な問題はありました。例えばホテルの予約はネットで行っていたので、ホテル側はチェックインの時に初めて私が障害者で、サポートなしで一人でやってきたことを知ります。ホテル側は困惑の顔をしますが、仕方なく滞在を認める、ということは多くありました。

この国内各地を訪問した経験から、今度はアメリカに行ってみようと思うようになりました。そこで自分がアーティストだということを武器にしてアピールできる場所を探しました。それで探し当てたのが、ニューヨークに事務所のあるJCATでした。このメンバーになる為にオーディションを受け、合格しました。オーディションでは、アートへの思い、作品等で審査されます。この時点では私が障害者であることはJCATのスタッフも知らなかったと思います。これでニューヨークのJCATの事務所を訪問する、という口実ができました。事務所スタッフは、今特別な催し物も無いので、来る必要は無いとのことでしたが、私の行きたい思いが強く、行く決心をしました。

英語も満足に話せないのですが、これまでの国内旅行と同様、必要なものは現地で手に入れるため、大きなスーツケースは使わないなど、「なんとかなる」との思いでニューヨークへ旅立ちます。旅の事前準備をし、一人で青森から羽田まで移動です。羽田空港内での移動、チェックインカウンターでの搭乗手続きなどは友人の助けを借りましたが、機内では全くの一人です。機内でも可能な限り自分で行うことにしていましたが、トイレ利用、薬の服用の時だけはキャビンアテンダント(CA)の介助が必要でした。私の為にCAがチームとなり交代で介助してくれました。



佐藤さんの作品：津軽手踊り  
モデルは、希真ノ会 津軽手踊  
会主 福井真喜子さん

\*JCAT:海外での活動を目指す日本人アーティストに向けたプロジェクト、「Japanese Contemporary Artists Team in New York」の略。

ニューヨークの空港に着いて、飛行機から入国審査までは親切な外国人の乗客が車椅子を押して連れて行ってくれました。そして、いよいよ入国審査です。私は審査官の英語が分からずうまく答えられませんでした。審査官は、私のような障害者が一人でニューヨークに来るはずがない、と思いきみ、すぐにこのまま帰国するようにとの指示を受けました。私は困ってしまい、周辺を見渡すと日本人らしき方が目に留まったので声をかけました。幸いにもこの方が日本人でしたので、ニューヨークにやって来た事情を説明し、審査官に話してくれるように頼みました。この方の説明を聞いた後、審査官の態度が一変し、“アメージング”、“クレージー”の声が聞こえ、ついに私のアメリカ入国が許可されました。



ニューヨークでは、現地在住の日本人女性の旅行ガイドに案内を頼んでいましたが、私の様子を見て、かつ私の日本人らしくない気性に感心してなのか、ガイド以外の、契約に無い滞在中の色々なサポートもしていただきました。JCATの事務所に行った時、そこのスタッフも私が障害者であることを初めて知ったので、このガイドを、ニューヨークの私の専属マネージャーとして認めてくれるよう依頼し、承諾を得ました。それから彼女が、私とJCATとの間のマネージメントをやってくれることになり、今に至っています。

このことから、英語を話せるように基礎をもっと勉強しなければいけないとの思いが湧いてきました。そこでオンラインで英語を教えてくれるところを探しましたが、脳性麻痺により滑舌も良くないことから断られ続け、なかなか先生が見つかりませんでした。幸いマイケル先生に引き受けてもらえることになり、今では私の愚痴も聞いてくれるようになりました。これも英語という共通のツールによる交流の成果なのでしょう。



佐藤さんの作品： *I was* …

私は障害者として生まれましたが、自分で出来ることは自分でやる、なんとかなる、との信念からこれまで生活してきました。その思いでニューヨークまで行くことができました。そして、自分の作品を見てもらえる場を得たこと、青森市・八戸市及びニューヨークでの友人を得たこと、英語を勉強するきっかけとなったことなどが、私にとっての大きな成果です。

### 編集長's "Eye"

マイケルさんが持つ彼の印象は、“失敗を恐れない、怖い物知らずの人” とのことです。その思いで挑戦し続け、海外で自分の武器であるアートでの自己表現の場を見つけた佐藤さんは、2022年8月にニューヨーク市チェルシーでのグループ展へ出展することが決まっています。この訪米で、佐藤さんは勉強した英語を使って自分の作品を外国の人に説明するという挑戦をしましょう。そうしてまた新たな世界が、彼の前に開かれることを期待しています。

\*JCATの佐藤 涼さんのギャラリーは下記アドレスで見ることができます。Ryo.S : <https://jcat-gallery.com>



# 外国人とのコミュニケーション ～「防災講座」を通じて～

今年度、防災教育の目的で、市民と在住外国人が意思疎通を図る2つのイベントが開催されました。

1つは、(公社)八戸青年会議所が主催した「RESCUE REVOLUTION ～異文化緊急時交流～」。

もう1つは、当協会と八戸市、及び八戸市連合町内会連絡協議会が共催した「地域で育む BOSAI 力講座」です。どちらのイベントでも、日本語が十分にできない外国人とコミュニケーションをするときに効果的とされる“やさしい日本語”について、岩手大学国際教育センターの松岡洋子教授が講義を行いました。

## 「RESCUE REVOLUTION～異文化緊急時交流～」の様子



日本人と外国人が一緒に班になり、「避難所に持っていくなら、どの食べ物？」というテーマでグループワークが行われました。「あんぱん・豚汁・チョコ・フォー」の4種類から何を選ぶかを、異なる文化や宗教上の観点から考え、やさしい日本語を用いて意見をまとめていきました。

青年会議所のスタッフや学生団体 LINDEAL のメンバーが進行役として入ることで、国籍や言語の違いがあってもスムーズにコミュニケーションをとることができていました。



ロールプレイは、同じグループのメンバーで行われました。避難所や給水所などを指示通りに回りながら、グループ員で協力し合い取り組んでいました。

今回は日本人が救護者、外国人が避難者という役割でしたが、松岡教授から、「災害時に外国人もボランティアとして活動することも考えてみてはどうか」というアドバイスを頂きました。

## 「地域で育むBOSAI力講座」の様子

今年度の「地域で育む BOSAI 力講座」は、白銀地区住民と極洋食品(株)のベトナム人実習生が参加しました。白銀地区住民にはやさしい日本語講座を、ベトナム人実習生には地震や津波の説明と多言語防災アプリを紹介する防災講座を受講してもらいました。





### ◇日本人と外国人の“懸け橋”になろう！

「BOSAI力講座」開催日の午前中にはファシリテーター養成講座を開催しました。異文化間の人々の関係をつなげ、災害等の有事の際に外国人が孤立することのないよう支援できる人材を育てるためです。

参加した15名は、災害時の避難所という多様な文化や考え方が集まった集団の中で、どのように合意形成をしていくのか、多文化コミュニケーションについて学びました。

そして、午後は「BOSAI力講座」の演習で、ファシリテーションの実践を行いました。白銀地区住民とベトナム人実習生が、やさしい日本語を使い避難所での非常食の配給を想定し演習する中で、全体を見守りながら日本人と外国人を“つなぐ”役割を担いました。



「ファシリテーター養成講座」と演習の様子

### 【考察】やさしい日本語は1つのコミュニケーションツール

最近、様々なメディアで“やさしい日本語”の有効性が紹介されていますが、ただ翻訳の仕方を覚えればよいというわけではありません。注意しなければならないことは、外国人それぞれの日本語レベルにあわせたコミュニケーションが必要だということです。日本語が全く分からない外国人には、どれだけ日本語を簡単にしても伝えるのは難しく、『やさしい日本語で話せばわかってもらえる』と決めつけてしまうのはよくありません。大切なことは、相手の文化や知識に配慮をする思いやりの気持ちです。

今回の講座でも、「どのような表現をすれば外国人に伝わるのかを考えるのが難しかった」という感想がありました。相手にどうしたら伝わるのか、また、相手が知りたいこと、わからないことは何かを考えることが、外国人との円滑なコミュニケーション、ひいては異文化理解の促進につながっていくと思います。

# 世界で活躍する八戸ゆかりの人



ここでは、世界で活躍している八戸出身者を紹介しています。  
今回は、ベトナム・ハノイ在住の千葉敦子さんです。

Xin Chao (シンチャオ)！皆さま、こんにちは。千葉敦子と申します。私はベトナムの首都ハノイで医師として勤務する夫と、やんちゃな息子との三人家族です。私達家族以外は全てがベトナム人という集合住宅で暮らしています。早いもので八戸を離れてからあっという間の4年が過ぎました。一年目をカンボジアのプノンペンで過ごし、2018年にハノイへ移動しました。

今回は、東洋のパリと表現される「芸術と文化とグルメの街」ハノイで、世界遺産巡り以外にもある魅力の楽しみ方を交えてご紹介！とさせて頂きたかったのですが、コロナで観光客が来なくなったハノイは、以前と比べとても静かで落ち着いた雰囲気になってしまいました。早く以前の活気に溢れたハノイに戻ることを祈りつつ、コロナ禍でのベトナム生活をご紹介させて頂きたいと思います。

## 〇感染者が出た時のハノイの対応

集合住宅の暮らしでは一人でも陽性者が出ると、ビルまるごとが21日間隔離され、誰も外出は許されません。陽性者が一人出た近くの大規模マンションでは、その一人のために同じ建物の居住者5300人が隔離対象となりました。また、ハノイ郊外の工場内で同じことが起きた時は、労働者全員が工場内で21日間の隔離を強制され、生活に必要な物資や食事は軍が配布、2300人全員が泊まるテントを工場内に設置するという徹底ぶりでした。個人情報保護が日本とは全く違うベトナムで、もし私が陽性になったら、この集合住宅に住んでいる85世帯の全員が21日間隔離になって迷惑をかけると思うと、自己的集まりやレジャーなど、容易な気持ちで行くことはできませんでした。

学校では、すぐさまオンライン授業に切り替わり、感染者のアナウンスがでた次の日には学校のノートPCと教材がスクールバスで各家庭に配達されました。また、美容院、スパ、レストラン内での飲食、お酒を提供するバーは政府の当日アナウンスで夜中0時から一斉に閉まり、突然に色々と制約されました。その反面、ハノイには携帯で使える便利アプリが豊富



ステイホーム中、色々なことに挑戦する子どもたち



にあるため、日常生活で特に困ったことは未だありません。日用品、食品、レストランの食事、カフェやスイーツ、配車アプリなど、アプリで選んでボタンを押すだけで、なんでも家まで届けてくれます。英語や日本語で表示されるアプリもあり、このおかげで私も不自由を感じず、とてもありがたく思っています。





防護服を着て外で仕事をする夫

主人の勤めるクリニックには、旅行に行きたいからPCR検査をしてほしい、旅行から帰ってきてコロナが心配だからクイックテストをしてほしいなどと希望する人がとても増えたそうです。デルタ株が増えてきた夏頃は、夏休みで家にいる子供を持つ家族は、長い我慢生活の限界が見えてきているのかなと感じたこともあります。夫は35℃を超える暑さの中、外で防護服を着てトリアージや検査を行いました。今は大丈夫でも、いつ感染するか、いつ隔離施設に連れていかれるかわかりません。旅行に行きたいという相手の気持ちも分からなくはないのですが、医療従事者が大変な思いで仕事をしている中、旅行に行くためにPCR検査を受けに来た人がいると聞くと、もどかしい気持ちになりました。それでも、ベトナム国内の24時間365日開院しているクリニックに勤務するただ一人の日本人医師として、「在越日本人や多様な国々から訪れる患者の役に立ちたい」と、一生懸命励む夫を、家族で支えられることは、とても幸せな事だと感じています。

八戸市民病院では、今明秀先生の指導のもと、救急救命、総合診療、往診の経験等を10年以上も積ませて頂きました。その時の経験が、こちらでどんなに役に立ち活かされているかと、夫も感謝している様子です。

ベトナムのコロナ対策や異変種株がテレビや新聞で取り上げられると、異国生活でどんなにストレスを抱えて暮らしているのだろうと心配し、いつもメールをくれる友人がいますが、本当にありがたいです。もちろん、旅行も行けないですし、Zoomでのミーティングはストレスが全く無いというわけではありません。しかし、厳しい制限下の中で嬉しい変化や発見もたくさんありました。第一に周りの人々と一緒にコロナにかからないよう共通の努力をしているという連帯感や助け合い感が生まれたことです。また、便利アプリを使うスキルが上がり色々なものをデリバリーしてもらえる様になり達成感を感じています。ステイホームで増えた家族との有意義な時間は、コロナがなかったら体験できなかった大切な出来事かも知れません。今まで料理は苦手と言っていた夫が、手の込んだ美味しい料理を作ってくれる様になり、8歳の息子も読書好きになり、また洗濯や掃除、簡単な食事を自分で用意できるまで成長しました。お互いこんなに長い時間を同じ空間で過ごしてもストレスを感じないのは、多分夫と息子のライフスキルが上がり、私が少し楽になったからだ！と勝手に思っています（笑）。

次号では、  
「芸術と文化とグルメの街ハノイ」  
と題し、様々な魅力を  
伝えたいと思いますので、  
ぜひご拝読ください!



家で夫と一緒に

# おし せんせい 教えて マイケル先生!

はちのへ なが す しゅつしん  
八戸に長く住んでいるカナダ出身のマイケル・モリスさんが、  
がいこくじんじゅうみん し じょうほう つた こんかい  
外国人住民に知っておいてほしい情報を伝えます。今回は  
ばんつうほう  
119番通報についてです。

「滞在期間の短い外国人住民は、火事や事故にあったら通報できる？何を伝えたらいいのかわかる？」

マイケルさんは、自分の経験を振り返って疑問に思いました。そこで、八戸で生活する外国人住民に  
きんきゅうじ たいおう し はちのへしやうほうほんぶ さかもと ゆうや しやうほうしちやう たす  
緊急時の対応を知っておいてほしいと考え、八戸消防本部の坂本友也消防士長を尋ねました。

けが人が出たときや火事の通報をするとき日本では119番に電話します。八戸周辺地域からの通報は八戸  
し たむかい しれい つな つうほう う しれいぶ しやうほうしや きゅうきゅうしや しゅつどう にほん  
市田向にある指令センターに繋がります。通報を受けた司令部は消防車が救急車を出勤させます。日本  
では消防車や救急車を呼ぶことにお金はかからないので、必要だと思ったら安心して電話をかけて助け  
を求めてください。



In Japan, when you have a medical emergency or want to report a fire the number to call is 119. That will put you in contact with the Command Center located in Hachinohe, Tamukai. Once the command center receives your call, they will dispatch either fire services, or an ambulance. It is very important to note that in Japan there is no charge for calling or using either an ambulance or the fire service. So, if you think it is necessary, please don't worry about calling and requesting help. There will be no charge.

指令センターでは、日本語が話せない人に対応するために、英語、中国語、韓国語、フランス語、ロシア語の  
かこくご だいいりやうどう システムを どうにゆう  
5カ国語で代理応答できるシステムを導入しています。また、三者間同時通訳を行う仕組みも整えており、  
じかん にちたいやうかのう げんご たいやう  
24時間365日対応可能で、15言語に対応しています。

The command center has an important system that is a benefit to non-Japanese speakers living in the Hachinohe area. When you call the command center, they will first begin using Japanese, but if you aren't able to communicate, they have an automated system that can use 5 languages, English, Chinese, Korean, French, and Russian. The operator can use the system to help communicate with the caller. If more information is necessary or if the caller does not use one of the five languages above, there is also simultaneous translation services that the command center can contact. It is a 24-hour service, and they can speak up to 15 different languages.

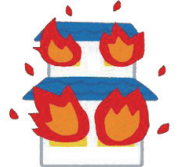


緊急事態をオペレーターに伝えるときに大切なことがあります。それは、自分がどこにいるのかを明確に  
せつめい せつめい 固定の電話機(公衆電話など)から電話をかけると、オペレーターに場所が確実に伝わり  
ます。屋外で携帯電話から電話をかけると、GPSを使ってほしいの場所が伝わります。家から電話するど  
きは住所をメモしておき、読む準備をしておくことが大事です。住所がわからなければ、近くの店の名前な  
ど、見える情報を伝えるようにしてください。そうすれば、八戸消防本部が対応してくれます。

There are some important things to remember when communicating an emergency to an operator. It is important to clearly explain where you are. Calling from a landline phone (such as a pay phone) will ensure that the operator knows where you are. When calling from a cell phone outdoors, you can use GPS to get a general idea of where you are. When calling from home, it is important to have the address written down and ready to read. If you don't know the address, try to give the name of a nearby store or other information that you can see. With those informations provided, the Hachinohe Fire Department will be able to help you right away.

火事、事故は怖くてストレスがたまります。特に、他の言語を扱う場合はなおさらです。でも、八戸消防  
ほんぶ わたし たす ぜんりよく つ きんきゅうじ ばん おほ  
本部は私たちを助けるために全力を尽くしてくれるので「緊急時には119番」を覚えておいてください。

Fires, accidents are scary and stressful, especially when you are dealing with another language. But the Hachinohe Fire and Rescue Department are here to help, and they will do all they can to assist all of us. So please remember in case of emergency dial 119!



## わかものどうし いぶんかこうりゅう 若者同士で異文化交流

NPO 法人みちのく国際日本語教育センター（MIJEC）が、令和3年5月16日と6月6日に、「ひらけ！異文化のトビラ」を開催し、八戸近隣地域在住の外国人と大学生約20名がオンラインで交流しました。

その中で、外国人から母国についてつぎのような紹介があり、質問をして理解を深めるなどとても盛り上がりました。

- ・インドネシア：ピンクビーチやブルーファイアなどの観光地  
動物のフンから作られたコーヒーが有名
- ・オーストラリア：オペラハウスやエアーズロックなどの観光地
- ・アメリカ：いろいろな祭りや料理が楽しめる（寿司が人気）  
州によって税金が違う

★オンライン参加者と母国紹介のようす ⇒



## がいこくじん にほんごきょうしつ 外国人のための日本語教室

八戸国際交流協会では、NPO法人みちのく国際日本語教育センターに委託して、外国人のための日本語講座を開講しています。会話を楽しみながら、日本語を学びましょう。今年度はオンラインで行っています。

時間 午後6時30分～午後8時30分

コース 週1回 または 週2回

対象 八戸市近郊在住の外国人（レベル別にクラスに分かれます）

受講料 時期により異なるのでお問い合わせください。

【お問い合わせ】

NPO法人 みちのく国際日本語教育センター

080-6051-3109

080-6026-3109

Email: [michinokunihongo@gmail.com](mailto:michinokunihongo@gmail.com)



## 八戸国際交流協会 会員及び準会員募集！

八戸国際交流協会の会員及び準会員※を募集しています。当協会は、地域の国際交流や、多文化共生社会の推進を目的として活動しており、会員の皆様の会費によって運営されている団体です。

年会費 個人1口 2,000円 団体1口 10,000円

- 会員の特典
- 協会発行機関紙「りんぐりんぐ」をお届けします。
  - 協会主催国際交流イベント情報をいち早くお届けします。
  - 協会主催のイベントや外国語講座では会員割引等の特典があります。

※準会員は高校生を対象とした会員制度で、年会費はありません。

## 八戸国際交流協会ボランティア募集！

当協会は、国際交流活動に参加していただけるボランティアを募集しています。ボランティアとして登録できる方は、18歳以上で、次に掲げる条件を満たす方です。

条件

- 1) 八戸圏域内で活動できる方
- 2) 国際交流に対する理解及び熱意がある方

活動内容 通訳、翻訳、ホームステイ、ツアーガイド、その他協会が認めた活動



## カメイ歯科

八戸市六日町 23 (コンサートホールとなり)

TEL 0178-22-0707

診療時間 平日（月火水金）10：00～14：00 15：00～19：00  
木曜土曜 10：00～14：00

・六日町パーキング券・共通駐車券を差し上げております。

## Hachinohe City Disaster Prevention Information for Foreign Residents


はちのへし ホームページ がいこくじんじゅうみんむ ぼうさいじょうほう えいご にほんご ていきょう ぼうさいちしき ふ ひ  
八戸市では、ホームページで外国人住民向けの防災情報を、英語とやさしい日本語で提供しています。防災知識を増やし、白ごころから  
さいがい そな さいがい  
災害に備えるために、いつでも見ることができるようにしてください。

Hachinohe City provides disaster prevention information for foreign residents in English and simple Japanese on the website. Please make sure you can see it at any time to increase your knowledge about disaster prevention and prepare for disasters on a daily basis.

**ホームページ**

したの QRコードまたはリンクから、ホームページを見ることができます。

<https://bit.ly/3fzCwjH>




★外国人向け防災情報ホームページ→


---

**提供情報**

- ① 災害時避難情報  
避難の指示や避難所の開設情報をお知らせします。
- ② 災害に備えるための情報  
防災ガイドブックや避難所の一覧表を掲載しています。
- ③ 災害時に便利な多言語情報  
防災情報を多言語で読めるつぎのアプリやウェブサイトのリンクを紹介しています。



← 災害情報がわかる「Safety tips」




避難所の場所がわかる「全国避難所ガイド」→

**Website**

You can access the website from QR code or link below.

<https://bit.ly/3fzCwjH>


★Disaster Prevention Information →





---

**Information delivered**

- ① Disaster Evacuation Information  
Evacuation orders and shelter opening information
- ② Information to Prepare for a Disaster  
Disaster prevention guide book and the list of shelters
- ③ Useful Multilingual Information Links  
Links to apps and websites that offer disaster prevention information in multiple languages



← Safety tips is an app for giving you disaster information.



Japan Shelter Guide is an app for searching → for disaster evacuation shelters in Japan.

### 【れんらくさき Contact Information】

はちのへし しみんれんけいすいしんか こくさいこうりゅうぐるーぷ  
八戸市 市民連携推進課 国際交流グループ

Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group

〒031-8686 Hachinohe Uchimaruru 1-1-1

TEL 43-9257 FAX 47-1485 Email [renkei@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:renkei@city.hachinohe.aomori.jp)



### 編集後記

ベトナム語には6つの声調があり、この違いを耳で覚え、正しく発音することがベトナム語学習の要となります。声調は、発音するときの抑揚により、同じ発音でも意味が違ってきます。今回P.8-9で紹介した千葉さんも、この発音の仕方に苦戦したようで、今でも市場で使う言葉、挨拶、タクシー用語、数、色など、普段頻繁に使うベトナム語がなんとか通じるくらいだそうです。

私もフィリピンで事務所にタガログ語を覚えてもらい、ホテル、マーケット等で使いましたが、現地の人に通じたり、褒めてもらったりすると、とても嬉しかったのを覚えています。

言語の習得には、それなりの努力と時間が必要ですね！

### 編集スタッフ

編集長：川崎 康一  
編集員：田頭 順子 Micheal Morris 亀井 圭子  
岩間 未希子 田中 野

発行・お申込み・お問合せ：  
八戸国際交流協会（八戸市市民連携推進課内）  
〒031-8686 八戸市内丸1-1-1  
TEL 0178-43-9257 FAX 0178-47-1485  
E-mail [info@hachinohe-hira.jp](mailto:info@hachinohe-hira.jp)  
<http://hachinohe-hira.jp>



印刷：大東印刷株式会社  
〒039-1103 八戸市長苗代字内舟渡 102-14  
TEL 0178-28-2348 FAX 0178-28-4329